

日本共産党深谷市議団  
議会報告

No. 11

2013年10月  
発行  
日本共産党  
深谷市議団



清水おさむ  
048-583-4726



清水むつみ  
048-574-3986

九月議会について

平成二十五年深谷市議会第三回定例会が九月二日から二十五日の日程で開催され、一般会計決算など市長提出議案三十三件、議員提出議案三件、請願三権などが審議されました。深谷保育を良くする会より提出された「子どもの保育を受ける権利を実質的に保障する」ための請願が賛成多数で採択され、国に意見書を提出しました。市長提出議案については、日本共産党市議団は平成二十四年度一般会計決算に次のような理由で反対しました。

一般会計決算 反対討論の要旨

図書館は「知の拠点」といわれ、本好きの人が利用するだけでなく、そこに行けば、知りたい調べたい様々なことに応える資料を備えて置かなければなりません。図書館の過去三年間を見ますと資料購入予算が削減され、本の貸し出しも減少しており、図書館業務が大きく後退しています。

また、敬老会は、人生を重ねてきた高齢者を敬い、長寿をお祝いする事業ですが、過去三年間の敬老会への参加状況を見ますと、参

加者が三分の一そこそこ少なく推移しており、憂慮すべき事態です。長寿を祝うのにふさわしい「敬老会」にするために、対象年齢や文化事業などの抜本的な見直しを求められています。

さらに、平成二十四年度決算では、まちづくりの大きな役割を担っている団体の補助金の削減や公民館をはじめとする公共施設の使用料負担の拡大、また、保育の質の低下を拡大する保育園の民営化など、市民サービスが大きく後退しています。

新聞報道によると、市長は「ソ

資料区分	22年度	23年度	24年度
一般書	6698	5537	4564
児童書	3556	2376	2317
郷土資料	67	53	41
視聴覚	141	66	123
雑誌	2976	2734	2607
合計	13438	10766	9652

資料購入数

資料区分	22年度	23年度	24年度
一般書	370388	353413	331196
児童書	249960	243592	234588
郷土資料	2697	2388	2459
視聴覚	32631	29038	25378
雑誌	34429	32630	32537
合計	690105	661061	626158

貸出数

一般質問 清水おさむ議員

排水路の清掃活動で市民の限界を越えている場所がある。対策を

問 川本地区で毎年行われる排水路清掃で大人の背丈を越える雑草や雑木、また急勾配な法面など、安全面で市民の奉仕活動として限界を超えている。対策を。

答 急勾配な場所や住民の高齢化で作業が困難になっているという相談が、市内各地域から多く寄せられている。負担軽減のため管理方法を調査・研究するとともに、景観の向上にもなる対策を地元との協働で進めたい。

アウトレットモールを誘致する開発計画について

問 市の現状は、中心市街地や地域の小売店の停滞、及び仕事がなくて困っている中小零細業者の支援、また交通弱

者の足の確保などが大きな課題である。雇用や地域経済の活性化というのであれば、なぜ、大規模開発に市民の血税を投入するのか。

答 アウトレットモールの誘致は、自主財源の確保と雇用の創出、また多くの来場者を市内に呼び込み、観光や農業の振興事業との相乗効果によって地域経済の活性化を図るものである。

問 アウトレットモールのある佐野や入間、軽井沢などでは、アウトレットの来場者を市内に呼び込むのが大きな問題になっており、地域経済の活性化にはなっていないと聞いている。市の資料によると、「アウトレットモールの集客力を活用した観光・農業施策の展開により、大きな経済波及効果を生み出す」といっているが、その根拠は。

(裏面につづく)

**答** 本事業は、まだ構想段階である。  
**見解** 構想段階でどうして「大きな経済波及効果を生み出す」などと言えるのか。根拠も示せない事業に、28ヘクタールの優良農地を開発し、36億円もの市民の血税を投入するなど、もつてのほかです。

### 排水路、壁の撤去を

**問** 県道深谷・嵐山線と交差する地点の備前堀排水路は、歩道下に設置された二つのボックスカルバートの壁が排水路中央部にあり、大雨の時などゴミがつまり水があふれ出てしまう。壁の撤去を。

**答** 壁の撤去は構造上難しいと思われる。県に問い合わせたが、当時の県と川本町の協議に基づき設置されたもので、現在のところ改良計画はないとのこと。

### パティオの市民サービスの低下について

**問** 流れるプールの水の勢いの低下やドライヤーの設置数の減少など、市民サービスが低下してしまったという

## 一般質問 清水むつみ議員

**Q** 民間学童保育委託料の基本分を増額できないか

**A** こども子育て新制度や近隣の動向を踏まえ検討する。

**問** 市では国県の基本的補助に加えて単独で補助金が加算されているが、各民間学童保育施設では安定的な運営に必要な財源としては充分とはいえない。現状の深谷市放課後対策事業委託料基本分を増額できないか。

**答** 現在増額は、考えていない。こども・子育て新制度や近隣の動向を踏まえ検討する。

**問** こども・子育て新制度で補助金が減額されることはないか。  
**答** 減額はない。

### 救急医療情報キットを配布できないか

**問** 急病時に備え、緊急連絡先などの必要な情報を冷蔵庫に保管しておく救急医療情報キットを六十五歳以上の希望者全員に配布できないか。

**答** 随時無料で配布している。今後配布窓口の一元化などの見直しを行い広く周知を図ることで利用促進につとめていく。

市民の声がある。市の認識は。また、水泳教室は、以前は水泳連盟の人たちが教えていたが、現在は指定管理者が教えており、連盟の人たちは活動の場を失って民間で教えている。連盟の人たちは利用料金を払って教えていたが、指定管理者は利用料金を払っているのか。

**答** 流水プールの吹き出し口は二つあるが、節電のため一つは止めている。勢いは多少弱くなっているが流れは十分確保できていると思われる。ドライヤーについては利用者の要望により、男女とも洗面台六か所のうち風量の強いドライヤーを三台設置し、残り三か所の洗面台は自由に使えるようにしている。指定管理者は利用料金を払っている。

**見解** 流れるプールは二つの吹き出し口が稼働してこそ醍醐味がありその役割を果たせるのであって、節電などと言って市民サービスを後退させてはいけません。指定管理者は利用料金を払っているという答弁ですが、条例では「利用料金は指定管理者の収入とする」となっており、これでは利用料金を払っているとは言えません。

### 深谷駅北口のゴミ問題について

**問** 深谷駅北口の青淵広場とバス停のグレイチングに煙草の吸殻が目立つよう対応するのか。

**答** 健康増進法の施行にともない青淵広場及びバス停の灰皿を撤去した。今後は職員による巡視を増やすなど、適正な管理に努める。

